
ORIMURAの秋物語

自称天災

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ORIMURAの秋物語

【Nコード】

N4115Z

【作者名】

自称天災

【あらすじ】

姉に織斑千冬、弟に織斑一夏どちらも優れた才能を持つ姉弟に劣等感を抱く次男織斑千秋が原石の輝きを取り戻していく物語

プロローグ(前書き)

人は平等じゃない

プロローグ

織斑千秋という人間として生まれてからいつも思うことがある。人は一人一人平等ではないということだ。

住んでいる環境もそうだが特に平等ではないと思うのが人に備わっている滞在能力の差。

おれの姉である織斑千冬は人外じみた身体能力、そして美貌をもっているし弟の織斑一夏はだれとでも親しくなりやさしくできる才覚（女性は堕ちる）
、物事に対する異常な吸収力をもっている。

こんなだれがみても憧れる姉弟になんのとさえもないおれ織斑千秋。生まれてきてから15年どんなに姉を弟を越えようとがんばっても結局は無駄だった……………

もともとの能力の差が歴然だった。

どんなに早く走っても姉よりもはやく走れず弟のような物事に対する吸収力もないどれをとっても勝てないそんな劣等感に押しつぶされそうな毎日にIS
というひとつの光が見えはじめた。

プロローグ（後書き）

なんかわかるなーその気持ち

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4115z/>

ORIMURAの秋物語

2011年12月14日01時51分発行